

じんけん通信

第2号

2018年

11月13日

【文責】

人権・同和教育
担当：長友

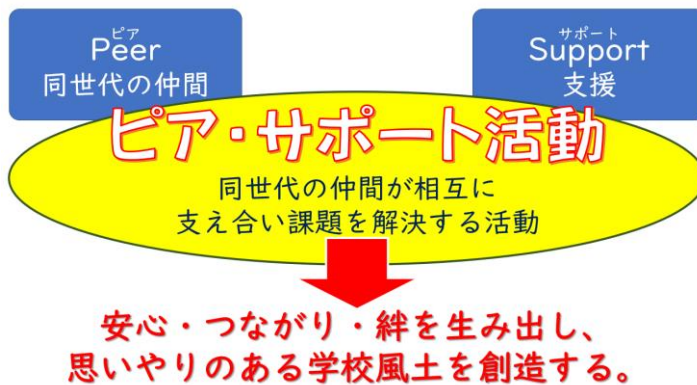
「ピア・サポート活動」って何？

昨年度から、岡富中では「ピア・サポート活動」の学習に取り組んでいます。

ピア (Peer) は「仲間」という意味で使われます。同学年だけでなく、小学生にとつての中学生も「ピア」。職場の同僚も、岡富中の保護者同士も「ピア」にあたります。

サポート (Support) は「支援」の意味です。これは専門家による「援助」とは違い、仲間としてよりよくサポートする「仲間力」に基づいたものです。

このように、同世代の仲間が相互に支え合い、課題を解決する活動——一言でいえば、仲間を思いやり、支援する活動が、ピア・サポート活動です。

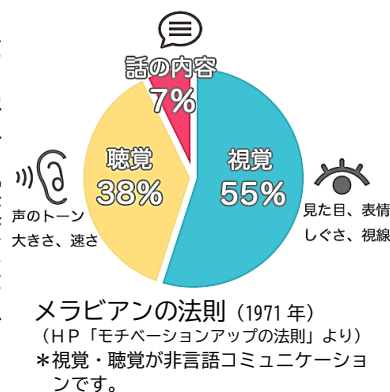


多くの学校では、ピア・サポート活動の内容を具体的に学習した後、学校行事を通して実際に体験するといった方法がとられています。

言葉だけじゃ伝わらない？

第2学年では、ピア・サポート活動の入門編「ガイダンス」を、10月に実施しました。

人がコミュニケーションをとるときには、その話の内容だけでなく、表情やしぐさ、声のトーンや大きさなどからも情報を得ています。人がコミュニケーションで重視する割合は、見た目やしぐさなど（視覚情報）が55%、声のトーンや口調など（聴覚情報）が38%、直接的な話の内容など（言語情報）が7%、だといわれています。いかに、93%の非言語コミュニケーションが大事なことを物語っているデータですが、逆をいえば、視覚・聴覚・言語がしっかりと一致すれば、メッセージがより強く相手に伝わるようになるのです。



【第2学年「ガイダンス」授業後の感想（抜粋）】

- 相手の意見を聞く姿勢など、接し方が分かりました。
- インタビューではいろんな人の面が見れたし、拍手された時、うれしかったです。ピア・サポートは普段からでもできるのでしていきたいです。
- 人と話す時にはしっかりと聞くようにしたいです。私も話している時に聞いてくれなかったら嫌なので聞くようにします。
- 私がこのクラスのためにできることは何かと考えたけど、そういう風に、私が「何ができるのか」を考えるということが大事だと学びました。

第2学年の授業では、始めにウォーミングアップとして非言語コミュニケーションとは何かを体験してもらいました。そして、コミュニケーションの大切さとピア・サポート活動の考え方を学びました。感想を紹介します。

【お知らせ】生徒は今週、「人権標語」に取り組みます。そこで、保護者の皆さまも一句いかがでしょうか？ 下記の返信欄で11/19までにお寄せください。生徒・保護者の作品はバザーで掲示する予定です。お楽しみに！



第2号

【ご家庭から】学級担任にお渡しください。

年 組／お名前

(ペンネームでも O.K. ですよ！)

◆書いていただいた内容をこの通信で紹介してもよろしいですか？ (○ ・ ×)